

質疑応答

説明会概要

2023年8月9日(水) 16:00 - 17:00 (Zoom ウェビナー)

機関投資家・アナリスト向け

質問1. Q2からQ1の回復の背景と下期見通しについて

回答 在庫調整が進み、少しずつ需要は上がってくると見通している。ただし、本格的な回復は2024年になるかもしれない。韓国は上向きトレンドだが低水準。台湾や中国は少し戻りに時間がかかるだろう。

質問2. Q1と比較し、Q2のよかった点・悪かった点を地域別・製品別で

回答 地域別では、強いていうと、日本・欧州はよかった。中国もまあまあよかった。製品別ではEXEが回復し、CZもよかった。実需に基づくものがどれくらい増えたのかはまだ計りかねている。Q1は、特に韓国におけるCZの在庫調整がきつく、Q2はその調整が終わり回復基調となった。

質問3. 地域セグメント別、特に日本と中国について解説してほしい

回答 日本では、パッケージ基板はエンドユーザーにより濃淡がある。一般基板は、多様な用途があるためパッケージ基板ほど悪くない。

中国（蘇州）では、パッケージ基板が低調。中国（珠海）は車向け一般基板が若干よくなってきている。スマートフォン向けの一般基板が回復してきている印象はない。

質問4. 上期に営業利益が約3.8億円上振れた要因について

回答 売上が約2億円上振れ売上総利益を約1.2億円押し上げた。また、労務費・経費が想定より約0.9億円下振れ、未実現利益が、想定金額より約1.4億円多く発生したことなどが要因。

質問5. 下期には期初に想定した以外の費用増加があるのか

回答 ない。上期に費用発生を計画していたものが下期にずれ込む。

質問6. 地域セグメント別で前年同期比で日本の利益の落ち込みが大きい要因

回答 日本の売上げが大幅に減少したため。

質問 7. 今期設備投資にこういったものを含むのか

回答 メック蘇州の生産増強や研究開発関係の投資。

質問 8. 対中輸出規制の影響は

回答 直接的に輸出規制に係る影響は現時点ではない。

質問 9. 生成 A I の影響は

回答 生成 A I は急に数が増えるものではなく、今期に大きな影響は見えていない。

以上